

経営比較分析表（令和元年度決算）

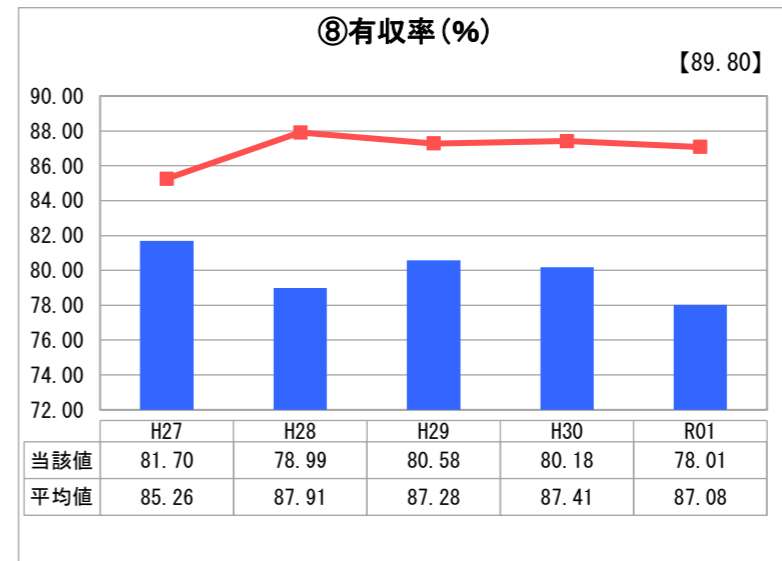
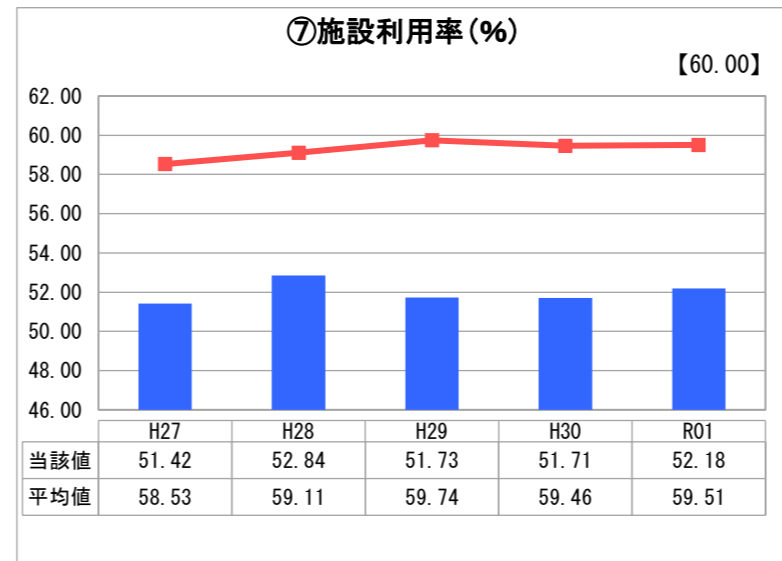
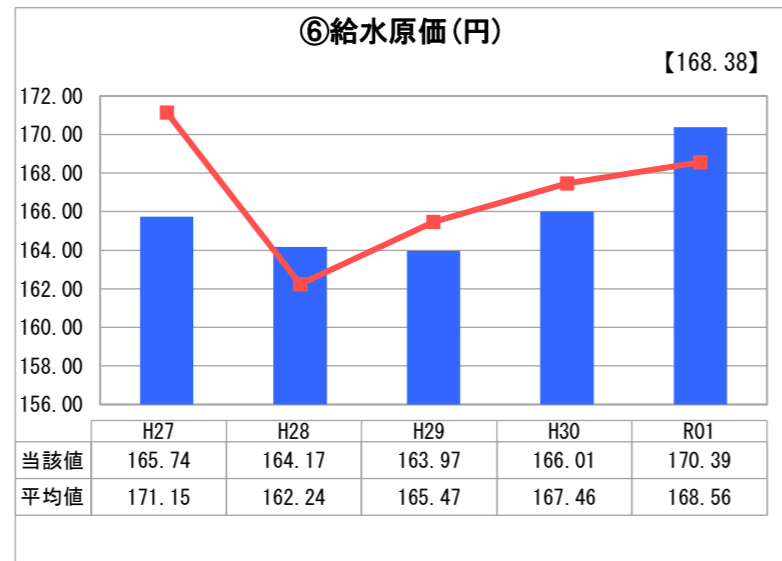
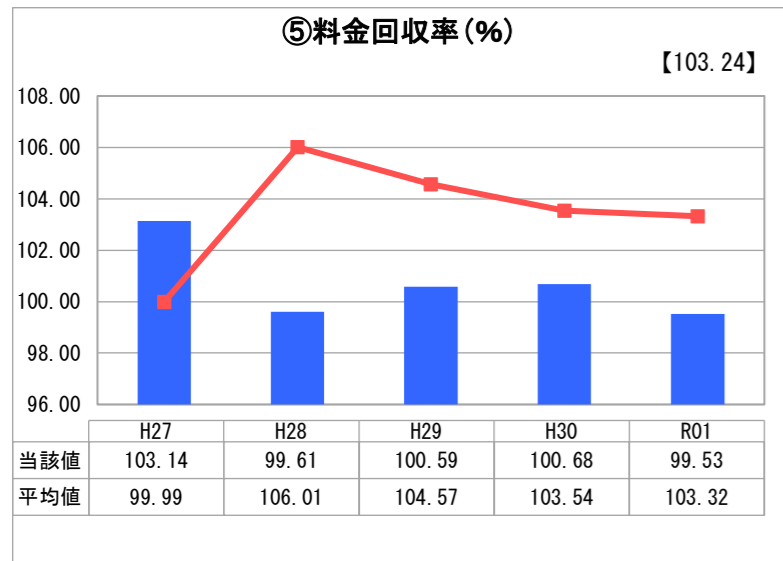
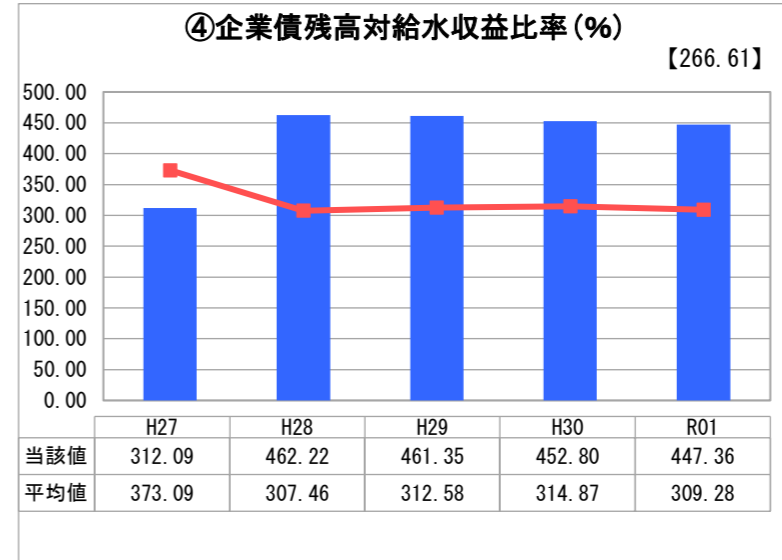
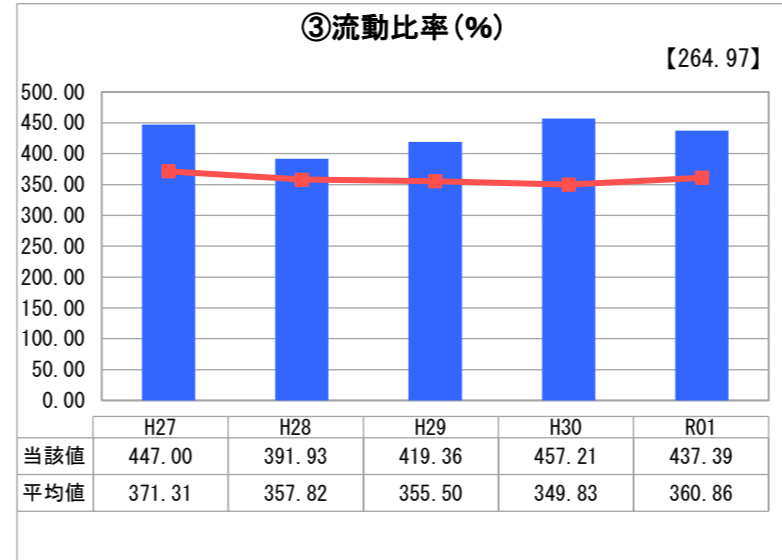
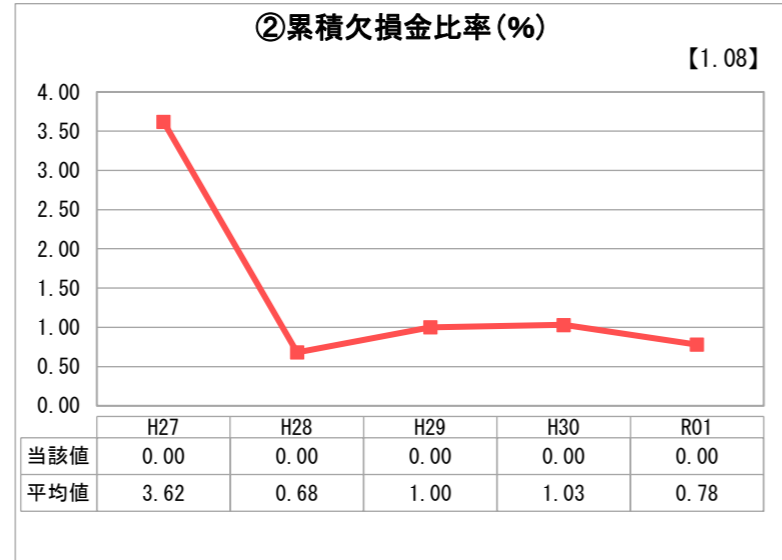
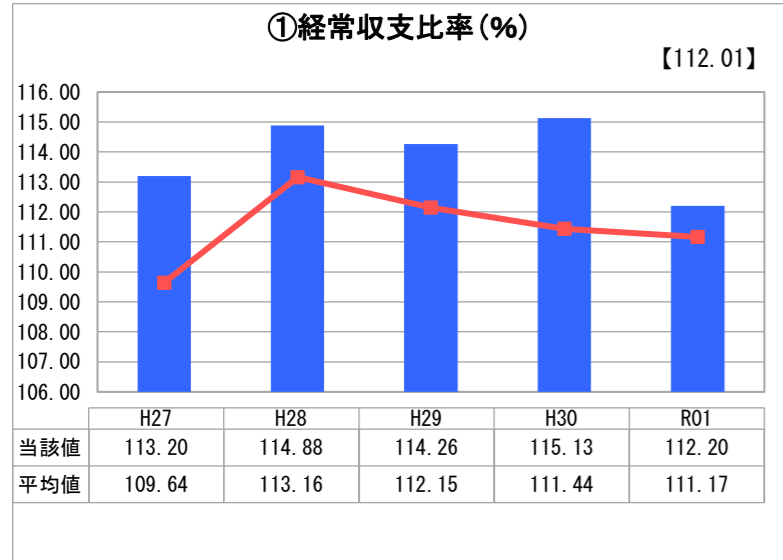
福島県 白河市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	64.81	96.45	2,343	

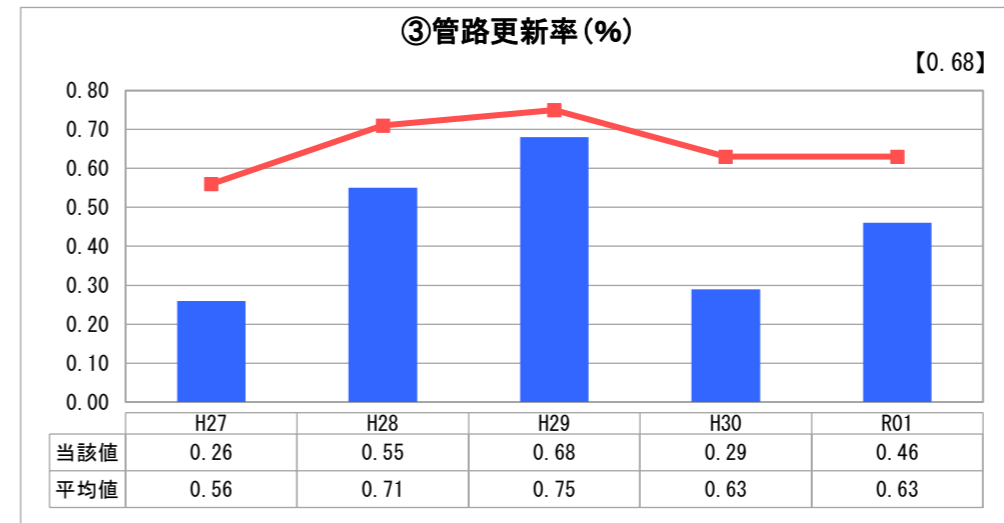
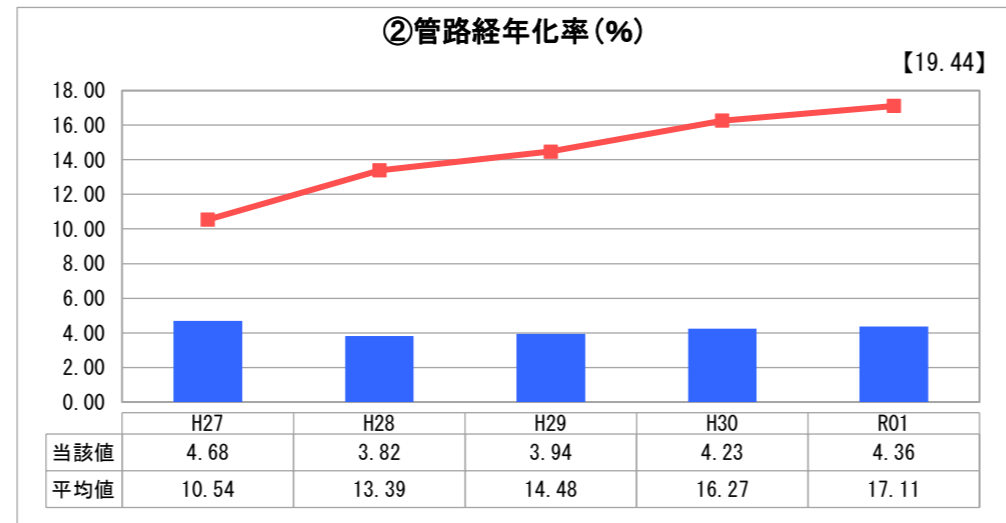
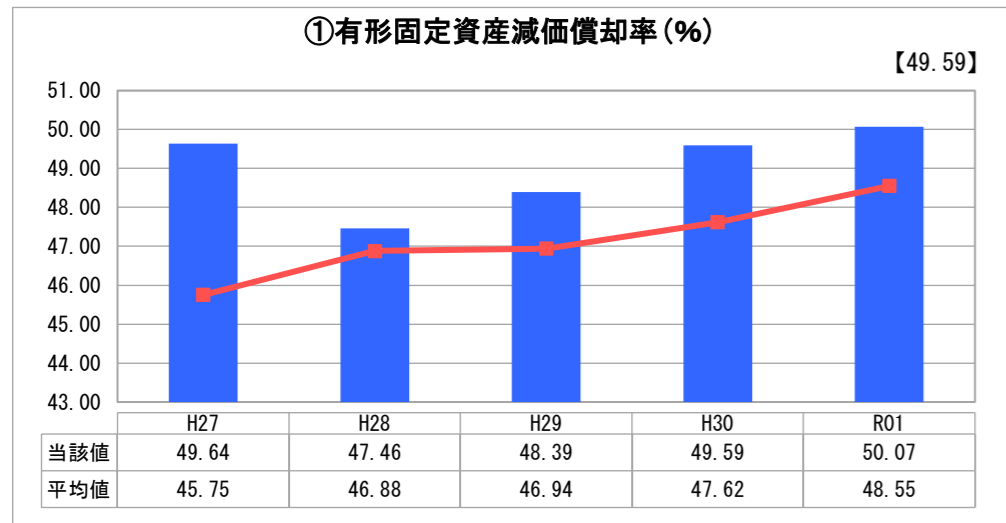
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
60,548	305.32	198.31
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
57,284	161.17	355.43

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の水道事業は、平成28年度に簡易水道を統合した。事業統合に併せ、旧簡水の料金を上水料金まで引き上げるため、平成29年度から激緩和措置を講じ、令和2年度に料金統一を図ることとしている。

- ① 経常収支比率、⑥ 給水原価、⑦ 施設利用率の各指標は、ほぼ類似団体平均値となっている。
- ③ 流動比率については水準を上回り支払能力に問題は無い。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、前年より減少し、堅実な企業債の償還が進んでいる。
- ⑤ 料金回収率は、漏水による修繕費の増に伴い給水原価が増加したため、前年度に比べ減少した。
- ⑧ 有収率は類似団体平均値と比べ低く、前年度と比較し若干低くなっているため、引き続き漏水調査や管路の修繕等を行い、有収率の向上を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率と② 管路経年化率は、いずれも増加傾向にあり、管路の老朽化が進んでいる。
- ③ 管路更新率が前年度に比べ増加したが、全国平均値を下回っているため、今後、アセットマネジメント手法の活用により、計画性をもって更新対策を行う必要がある。

全体総括

今後、給水人口の減少に伴い、収益が減少していくと予想されると共に、施設の維持管理費及び管路更新の計画的実施による建設改良費の増加が見込まれる。施設の統廃合など効率的な運営を行うと共に、官民連携・広域化を検討し、経費の削減に努めることで、経営基盤の強化とサービスの向上を目指していく。